

「公印省略」

3 農林試第 2 3 8 0 号
令和 3 年 9 月 2 1 日

各関係機関団体の長 }
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 3 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号について

このことについて、下記のとおり発表したもので送付します。

特殊報第 1 号

1 病虫害名 トマト黄化葉巻ウイルス

2 学 名 *Tomato yellow leaf curl virus* (TYLCV)

3 寄生植物 リンドウ

4 発生の経過と概要

令和 3 年 7 月、県内の露地リンドウにおいて、株の矮化および新葉にねじれ症状がみられる株が確認され、当所においてイムノクロマト法によるトマト黄化葉巻ウイルスの抗体検査を実施したところ陽性の反応を示した。

さらに PCR 法による遺伝子診断を実施したところトマト黄化葉巻ウイルス (TYLCV) が検出されたことから、TYLCV による病害と判断した。

5 国内での発生状況

TYLCV による病害は平成 8 年に静岡県、愛知県、長崎県のトマトで初めて発生が確認された。福岡県では平成 1 1 年にトマト、平成 1 6 年にトルコギキョウで発生が確認されている。リンドウでの確認は国内で初めてである。

6 病徴

新葉は波打ち、ねじれ症状や葉巻症状および黄化 (写真 1) を呈す。また、上位節間が短縮し、株が矮化する (写真 2) 。

7 発生生態

本ウイルスは、タバココナジラミの吸汁によって永続的に媒介される。

タバココナジラミは、成虫および幼虫が罹病植物を吸汁することによりウイルスの伝搬能力を獲得する。

なお、経卵伝染、汁液伝染、土壌伝染、種子伝染はしない。

8 防除対策

- (1) 発病株は感染源となるため、早急に抜き取る。抜き取った株はビニル袋に入れるなどして、ほ場外に持ち出し、適切に処分する。
- (2) ほ場内や周辺の雑草は、媒介虫であるタバココナジラミの増殖の場となるため、除草を徹底する。
- (3) 媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。また、薬剤の使用にあたっては、抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避ける。



写真1 新葉のねじれ症状



写真2 株の矮化症状

○病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「福岡県病虫害防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>

